

式辞

うらかな春の香りが感じられる季節となりました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。温かい春風とともに入学される一〇七名のみなさんを、心から歓迎したいと思います。

この良き日に、石川県議会議員竹田良平様、PTA会長加藤宏邦様を始め、ご来賓の皆様、そして、多くの保護者の皆様をお迎えし、令和六年度小松市立板津中学校入学式を挙げていきますことに対しまして、職員を代表し、心より御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんは今日から中学生です。新たに中学生生活を始めるにあたり、大切にしてほしいことを二つ、今から話します。この入学式が、これから始まる中学校生活での初めての「授業」です。しっかり聞いて下さい。

一つ目、それは、「つながる」ということです。学校で学ぶことはたくさんあります。教科の勉強ではありません。学校で行うことすべての学びが自分自身を成長させてくれます。でも、それは決して一人ではできないことです。だから、どんなときも「つながる」ことができなければなりません。そして、つながる人を自分の好き嫌いでより好みしていたのでは、自分の世界は広がらないということを、心にとめておいてください。縁あって同級生となったみなさんは、これから始まる中学校での三年間を一緒に過ごす大切な仲間です。この中に誰かを傷つけてよい人など一人もいません。もちろん、傷つけられてよい人も一人もいません。みなさん一人一人、家に帰れば、本当に大切にかけがえのない宝物のような存在なのです。その大切な一人一人が集まっている場所が学校です。「自分を大切に」そして「周りを大切に」することで「つながり」、いざというときに力を合わせられる仲間になってください。いざというときはたくさんあります。学校で一緒に何かをするときは、すべて「いざというとき」です。

二つ目は、「挑む」ということです。これから始まる中学校での三年間は、本当に自分の心と体の両方が、見違えるくらい大きく成長する時期です。自分がやってみたいことややりたくないと感じることで、少しずつ自分なりの小さな挑戦を積み重ねてください。それらの経験は必ず、自分の世界を、そして可能性を広げてくれます。

すべては挑戦することから始まります。挑戦と失敗を繰り返し、なりたい自分づくり、夢づくりを楽しんでください。そして、仲間の挑戦や失敗を認め、応援できる集団としても成長できることを願っています。

これら二つのことを大切にしながら、自分たちの学校を、自分たちの手で、声で、つくっていくことを強く希望します。

それぞれの小学校で最上級生として力を発揮してきたみなさんです。その経験を十分に活かし、まずはみんなが笑顔で楽しめる学年を、自分たちで作りに上げてほしいと思います。

学校づくりについては、先輩たちがその道を示してくれます。やさしくて、つよくて、かつこいひ憧れの先輩を見つけてください。そして一年後、自分も憧れられる先輩になるのです。

もう一度言います。「つながること」「挑むこと」この二つのことを大切に、「なりたい自分づくり、夢づくり」です。

みなさんが三年後卒業するときに、この学校が大好きで、そして、この板津中学校で過ごした三年間を、誇りに思い、素敵な板津人になって巣立っていけるように、仲間、先輩、先生たちと一緒に頑張りましょう。

最後になりますが、保護者のみなさま、本日はおめでとうございます。お子様の中学校入学に際しまして、多くの不安と希望をお持ちのことと思います。中学校は、「人生の基礎づくり」であり、子どもが大人に成長していくうえで、必要不可欠な場所であると、私は思っています。

また、その成長のために、子どもは学校という社会の中で、たくさんの失敗とたくさんの成功を経験しなければならないとも思っています。失敗がその子を強くし、また、小さな成功を積み重ねることで自信がもてるようになります。

私たち教職員一同、誠心誠意、一丸となって、子どもたちの失敗と成功を支えていく所存です。そのためには、学校と家庭が信頼関係の下、常に協力していかなければなりません。保護者の皆様方には、板津中学校に対しまして、忌憚のないご意見をいただきますと共に、多大なるお力添えをいただきますことをお願いいたします。

保護者のみなさまにとって、かけがえのない大切なお子様に対しまして、教職員一同、全力でご支援させていただきますことを、お誓い申し上げまして、式辞といたします。

令和六年四月八日

小松市立板津中学校長

本 美紀